

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外に取り付け方や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

### 販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

パイオニア株式会社  
〒153-8654 東京都目黒区目黒1-4-1

© パイオニア株式会社 2008  
< KFWZX > < 08J00000 > < CRA4139-A/S >

## 作業の進めかた

### ①はじめに

- 接続・取り付け部品を確認する ..... 2

### ②接続のしかた

- 接続の前に知ってほしいこと ..... 4
- 接続端子の名称と働き ..... 6
- システムの接続 ..... 7
- 電源コードの接続 (1) ..... 8
- 電源コードの接続 (2) ..... 10
- 地上デジタル TV チューナー  
/IP-BUS 機器 /VTR/ バックカメラ  
/リアモニターの接続 ..... 12

### ③取り付けかた

- 取り付けの前に知ってほしいこと ..... 14
- ナビゲーション本体の取り付け ..... 15
- GPS アンテナの取り付け ..... 18
- ハンズフリー用マイクの取り付け ..... 20
- フィルムアンテナの取り付け ..... 22

### ④接続・取り付けが終わったら

- 接続・取り付けの確認を行う ..... 30
- サブウーファーの設定を行う ..... 32
- バックカメラの設定を行う ..... 33
- 外部機器の入力設定を行う ..... 34

接続・取り付けが終わったら、必ず接続・取り付けの確認～外部機器の入力設定（13P 30～34 ページ）を行ってください。

# 接続・取り付け部品を確認する

## ナビゲーション本体関係



ナビゲーション本体× 1



バインドネジ  
(5 × 6mm) × 8



皿ネジ  
(5 × 6mm) × 8



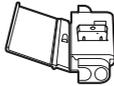
タッチパネル用調整  
ペン× 1

※タッチパネル用調整ペンは調整時のみ使用しますので大切に保管してください。調整方法については、『ナビゲーション & オーディオブック』をご覧ください。

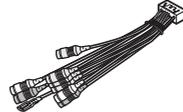
## 接続ケーブル関係



電源コード× 1



U エlement  
コネクター× 1



RCA 入出力ケーブル  
× 1

## ハンズフリー用マイク関係



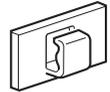
ハンズフリー用マイク  
× 1



マイククリップ× 1

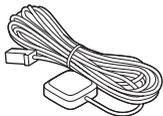


両面テープ  
(23 × 14mm) × 1



クランパー× 5

## GPS アンテナ関係



GPS アンテナ× 1



金属シート× 1

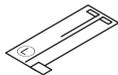


クランパー× 5

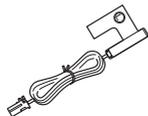


防水パッド× 1

## フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ× 1



アンテナケーブル× 1



クリーナークロス× 1



固定用シート× 1



クランパー× 3

# 接続の前に知ってほしいこと

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—

## 接続上のご注意

- 本機は、エンジンスイッチに ACC ポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けしないでください。取り付けたと、バッテリー上がりの原因になります。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗します。
- 若草色リード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないと一部の機能が使用できなくなります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けたと、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- 必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。
- スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーやアンプの発火・発煙・破損の原因となります。
- ガラスアンテナ車など、アンテナブースターの電源がある場合、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）を車側のアンテナブースターの電源に接続してください。接続を忘れるとラジオ放送の受信ができません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

## コネクターの脱着のしかた

- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクターどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。
- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



## 接続のポイント

### ノイズ防止のために

- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
  - \* フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
  - \* FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
  - \* GPS アンテナおよびそのアンテナコードそれぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。
- RCA コードに何も接続しない場合は、付属のキャップを外さないでください。

### IP-BUS の接続について

- IP-BUS の端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。(コネクターの接続部分が色分けされています。) 違う色のコネクターを接続すると、正常に動作しないことがあります。

### 電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

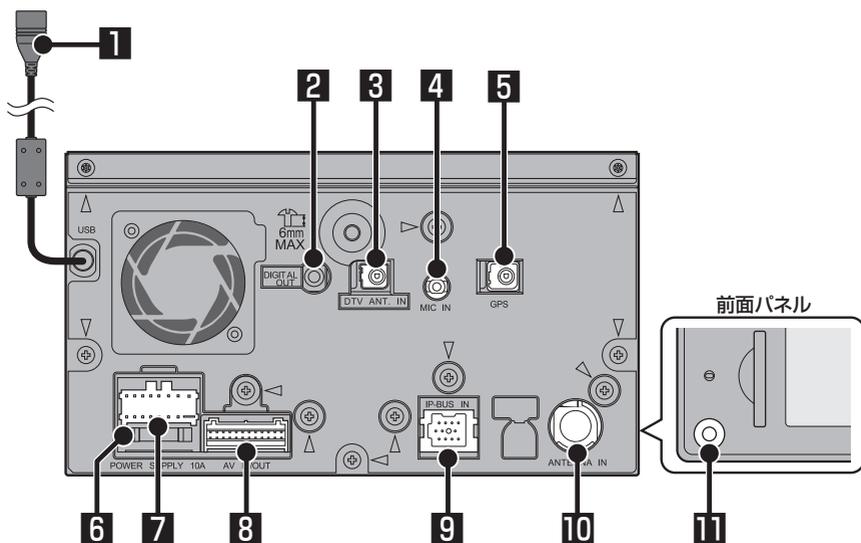
## ピンクリード線の接続について

- ピンクリード線(車速信号入力)は、必ず接続してください。
- ピンクリード線を接続しない場合は、測位誤差が大きくなる場合があります。(※『ナビゲーション & オーディオブック』の「ナビゲーションのしくみ」)
- ピンクリード線を車の車速検出回路に接続するのが困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)をお使いください。



# 接続端子の名称と働き

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—



## 1 USB 接続端子

iPod や USB メモリーを接続できます。  
(※ 7 ページ)

## 2 デジタル出力端子 (灰)

本機では使用しません。

## 3 ワンセグアンテナ入力端子 (茶)

付属のフィルムアンテナを接続します。  
(※ 7 ページ)

## 4 ハンズフリー用マイク入力端子 (黒)

付属のハンズフリー用マイクを接続します。  
(※ 7 ページ)

## 5 GPS アンテナ接続端子 (緑)

付属の GPS アンテナを接続します。  
(※ 7 ページ)

## 6 ヒューズ (10 A)

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

## 7 電源端子 (黒)

付属の電源コードを接続します。  
(※ 8 ~ 11 ページ)

## 8 映像・音声入出力端子 (白)

付属の RCA 入出力ケーブルを接続します。  
(※ 7 ~ 9、12 ~ 13 ページ)

## 9 IP-BUS 入力 (青)

IP-BUS 出力のある製品を接続できます。  
(※ 12 ~ 13 ページ)

## 10 AM/FM/VICS/FM 多重用アンテナ入力端子

車載のラジオ用アンテナを接続します。  
(※ 7 ページ)

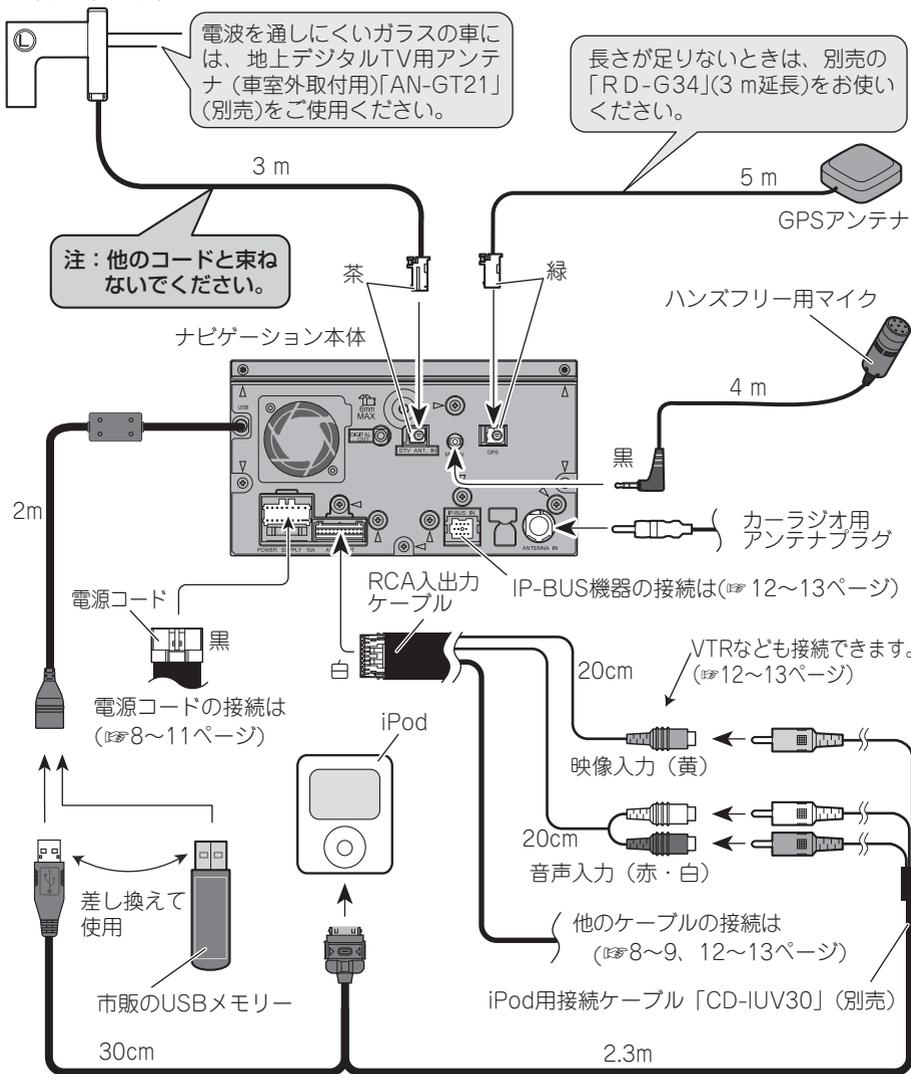
## 11 AV 入力端子 (3.5mm 4 極ミニジャック)

別売の AV 入力用変換ケーブル「CD-VRM200」を使って、ポータブルビデオなどの外部映像機器を接続することができます。また、市販の 3.5mm ステレオミニプラグを使って外部オーディオ機器を接続することもできます。外部機器接続後は、「AV 設定」—「その他設定」—「AV2 入力」の設定が必要です。(※ 34 ページ)

# システムの接続

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—

フィルムアンテナ



接続のしかた

## メモ

- iPodを接続したときは、「AV設定」—「その他設定」の【AV1入力】の設定が必要です。(P.34ページ)

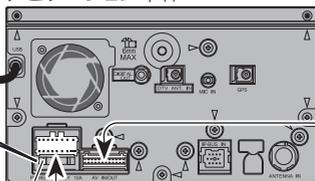
# 電源コードの接続 (1)

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—

注：ヒューズを交換するときは、必ず同じ容量のヒューズと交換してください。

注：製品の発煙・故障を防ぐために、黒リード線を必ずいちばん初めに接続してください。

ナビゲーション本体



RCA入出力ケーブル

電源コード

## アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。ノイズ防止のため、できるだけナビゲーション本体の近くに接続してください。

## +バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

## アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCポジションにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。エンジンスイッチにACCポジションがない車には絶対に取り付けられないでください。バッテリー上がりの原因になります。

## イルミ電源

車のライトをONにしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

## アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。) 下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合※：車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車の場合：車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

※車載のアンテナがオートアンテナの場合、エンジンスイッチのON（本機の電源ON）に連動してアンテナが上がります。屋内ではご注意ください。

黒 41 cm

黄 26 cm

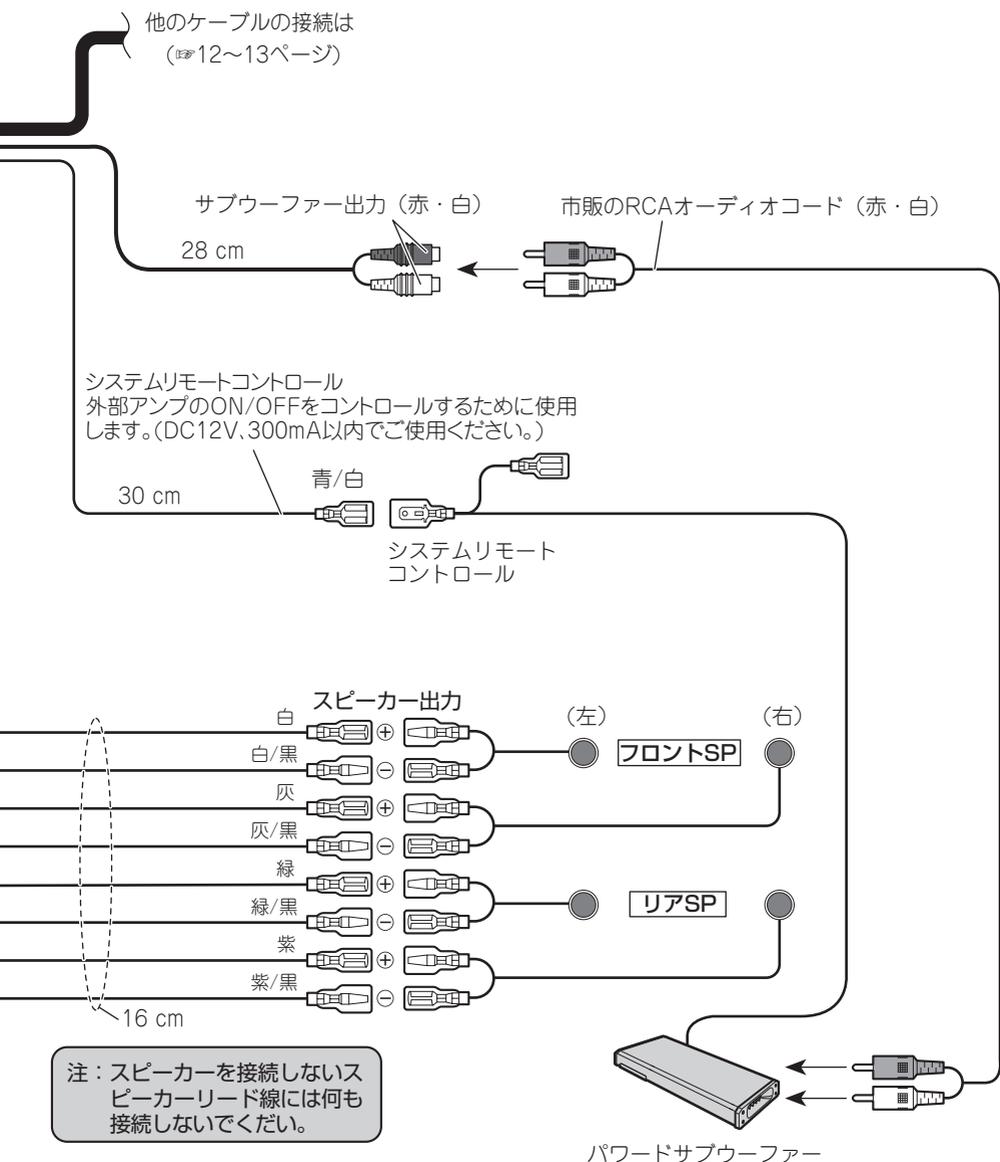
赤 16 cm

橙/白 16 cm

青 16 cm

注：赤、橙/白、黄リード線は車のヒューズユニットを通したあとの端子に接続してください。

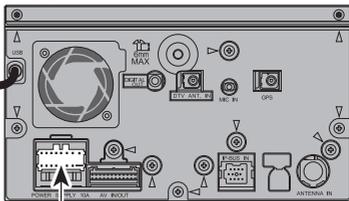
他のリード線の接続は (P.10~11ページ)



# 電源コードの接続 (2)

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—

ナビゲーション本体



電源コード 黒

他のリード線の接続は  
(※8～9ページ)

## バック信号入力

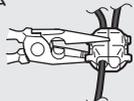
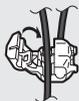
この接続は車の前進/後退を判断するためのものです。バックランプのリード線の「シフトレバーをリバースの位置にしたときに電圧が変化するリード線」に接続してください。

※接続しないと前進/後退を正しく検知できないことがあるため、自車位置がずれる場合があります。

※別売のバックカメラユニットを利用する場合は必ず接続してください。接続しないとバックカメラ映像に切り換わりません。

注：電源リード線の、ヒューズ抵抗から本体の間に、他の機器のリード線を接続しないでください。

### 接続方法



バックランプのリード線をはさみ込む。

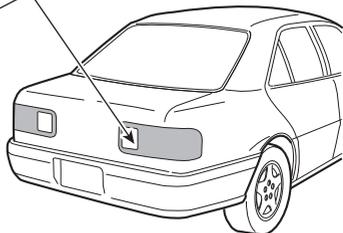
ラジオペンチで強くはさむ。

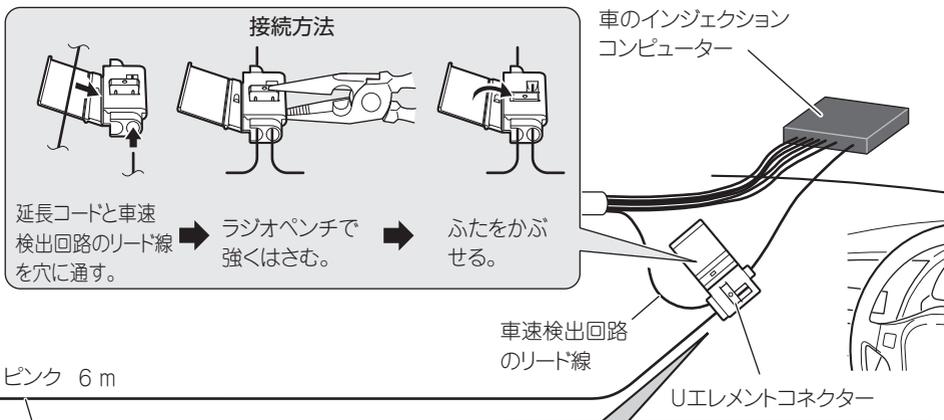
紫/白  
8 m

ヒューズ抵抗

バックランプのリード線

バックランプ(シフトレバーがリバース [R] のときに点灯するランプ)の位置を確認し、トランク内から、バックランプのリード線を取り出します。





ピンク 6 m

### 車速信号入力

車の走った距離を検出するために使用します。必ず車の車速検出回路に接続してください。(車の車速検出回路への接続が困難な場合は、車速パルス発生機「ND-PG1」(別売)を接続することもできます。)

**注：必ず付属の エレメントコネクターを使用してください。指定以外の物を使用すると接触不良の原因となります。**

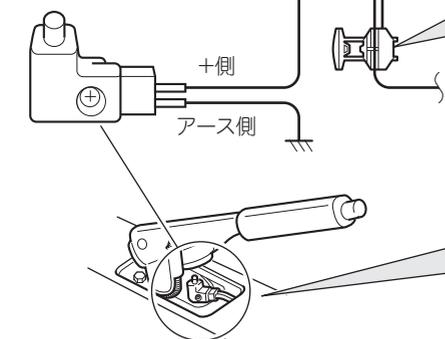
インジェクションコンピューターの車速検出回路の位置は、車種によって異なります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### パーキングブレーキスイッチ

車が停車していることを確認するために使用します。必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

若草色 2.1 m

### パーキングブレーキスイッチ



### 接続方法

パーキングブレーキスイッチの+側リード線 → ラジオペンチで強くはさむ。

パーキングブレーキスイッチの位置は、車種によって異なります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

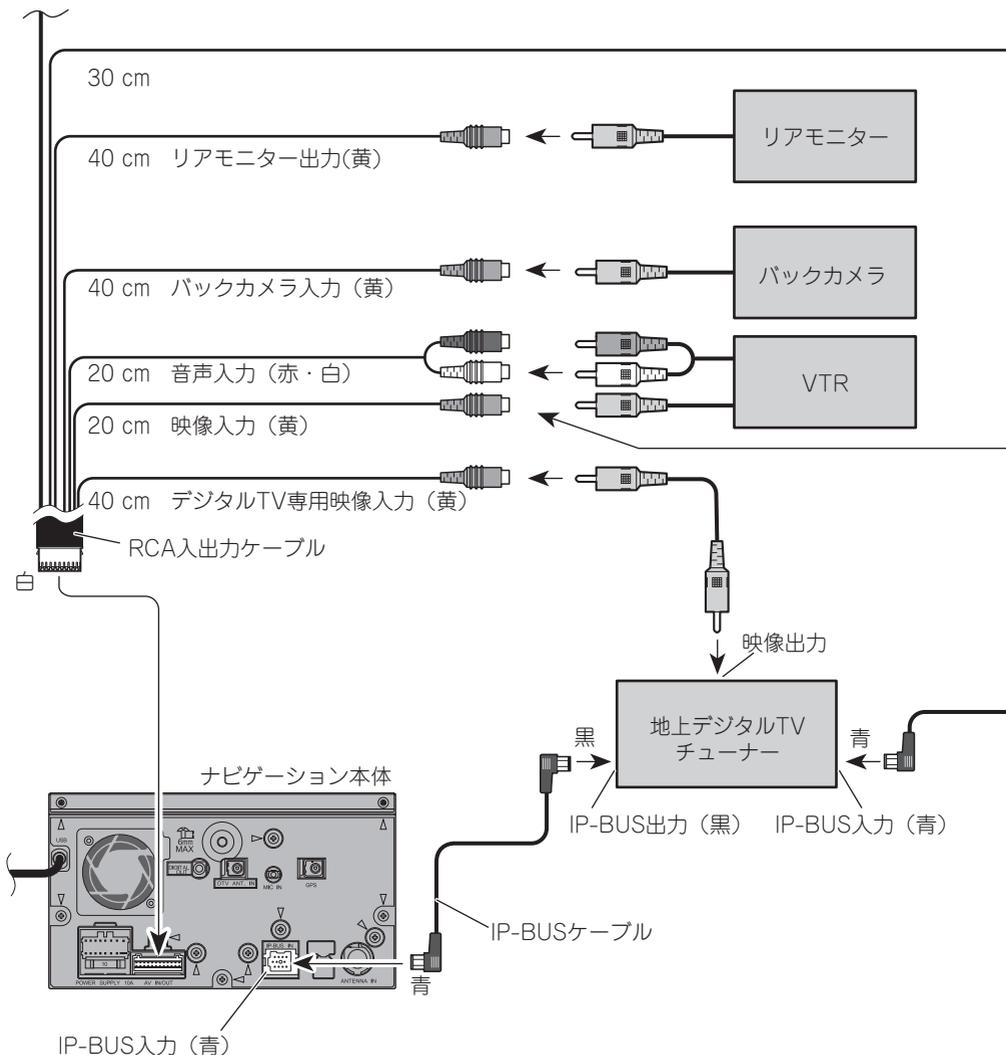


# 地上デジタルTV チューナー / IP-BUS 機器

—必ず車のバッテリーを外してから接続してください—

本機には、下記の外部機器が接続できます。

他のケーブルの接続は  
(図7～図9ページ)



## ⚠ 注意

- 接続したリアモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置に設置してください。
- パイオニア製「TVM-W シリーズ」以外のモニターを接続した場合は画像が乱れる場合があります。また、フロントモニターに表示される映像と画質は異なります。

# VTR/バックカメラ/リアモニターの接続

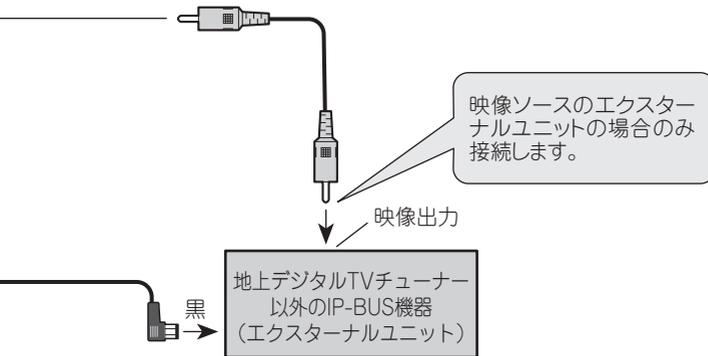


青/白

## システムリモートコントロール

外部アンプのON/OFFをコントロールするために使用します。(本機の電源がONになると、コントロール信号が出力されます。)外部アンプのシステムリモートコントロールに接続してください。  
(12 V DC、300mA以内でご使用ください。)

映像入力 (黄) へ



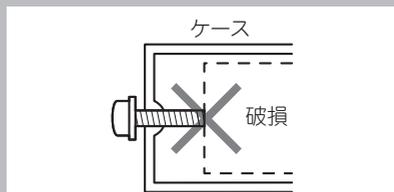
## メモ

- 接続する IP-BUS 機器にモードスイッチがある場合、IP-SOURCE モードに設定してください。詳しくは、IP-BUS 機器の取付説明書をご覧ください。
- エクスターナルユニットは 2 台まで接続できます。エクスターナルユニットについては、『ナビゲーション & オーディオブック』の「エクスターナルユニットの操作のしかた」をご覧ください。
- 本機は、地上デジタル TV チューナー以外の IP-BUS 機器をエクスターナルユニットとして認識します。ただし、マルチ CD プレーヤーはご使用になれません。
- VTR や映像ソースのエクスターナルユニットを接続したときは、「AV 設定」→「その他設定」の【AV1 入力】の設定が必要です。( 34 ページ)
- バックカメラを接続したときは、バック信号入力線( 10 ページ)の接続と、「システム設定」の【バックカメラ】の設定が必要です。( 33 ページ)

# 取り付けの前に知ってほしいこと

## 取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



## 取り付けのポイント

### 取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。このときアンテナ類などは、受信状態のよい位置を確かめてから取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

### 粘着テープを貼り付ける前に

- マジックテープや両面テープを貼り付ける場所は、汚れをよくふきとってください。

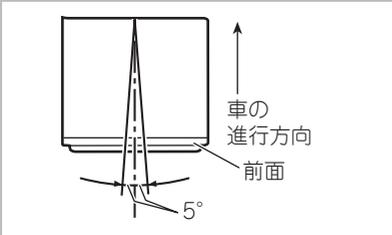
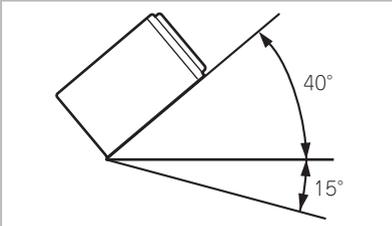
### ノイズ防止のために

- フィルムアンテナの取り付けのしかたによっては、ラジオ放送に雑音が入る場合があります。フィルムアンテナは、フィルムアンテナの取り付け（※22ページ）の説明に従って正しく取り付けてください。
- ノイズ防止のため、次のものはナビゲーション本体や他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
  - \* フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
  - \* FM/AM アンテナおよびそのアンテナコード
  - \* GPS アンテナおよびそのアンテナコード
 それぞれのアンテナコードどうしもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

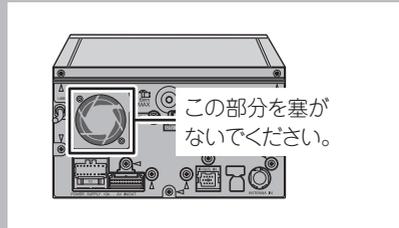
# ナビゲーション本体の取り付け

## 取り付け上のご注意

- 本機の性能を十分に発揮するために、上下の傾きはできるだけ水平に取り付けてください。傾けて取り付ける場合は、水平に対して上の傾き 40 度以内、下の傾き 15 度以内の角度で取り付けてください。左右の傾きは車の進行方向に対してナビゲーション本体の前面が 5 度以内の角度で取り付けてください。



- 必ず本機に付属のネジを使用して取り付けてください。付属のネジよりも長いネジを使用すると、本機内部の部品をいためることがあります。
- 放熱を妨げないために、下図の部分を塞がないように配置してください。



取り  
付け  
かた

## 取り付けのポイント

### 取付キットを別売しています

- 日産車に取り付ける場合は、車種や年式によって別売の日産車用取付化粧パネル「ADT-N979Ⅱ」が必要になることがありますので、販売店にご相談ください。
- ※ 本機に「ADT-N979Ⅱ」を使用する場合は、上部にすきまができるようにパネルを上方向に寄せて取り付けてください。パネルを固定する際は、左右のみテープ止めを行い、上下にはテープを貼らないでください。

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意しておりますので、販売店にご相談ください。

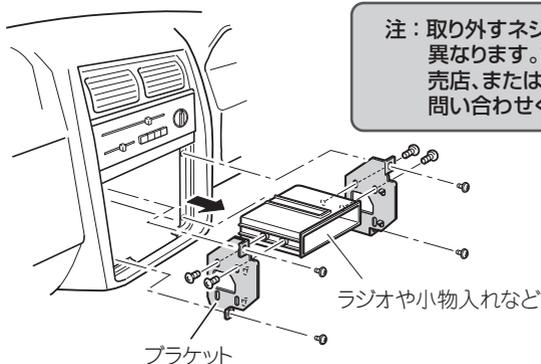


# ナビゲーション本体の取り付け

つづき

## 1 車両のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。

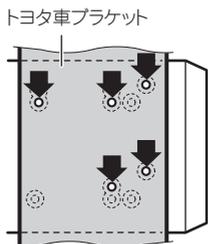


注：取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

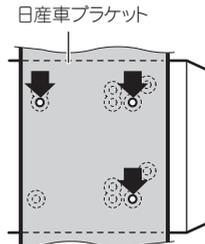
## 2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。次のネジ穴のうち4カ所または3カ所合う位置があります。

### トヨタ車の場合

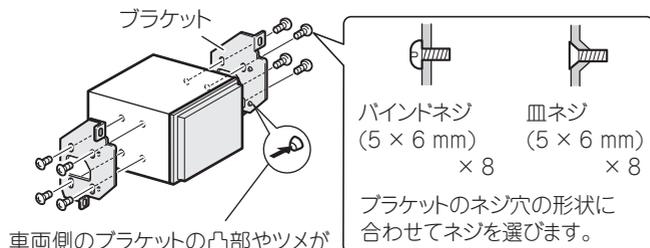


### 日産車の場合



## 3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ 4 カ所（または 3 カ所）ずつ、付属のネジでネジ止めして、元どおり車に取り付けます。



車両側のブラケットの凸部やツメが邪魔になり、浮いてしまう場合は、それらをハンマーなどでつぶす必要があります。

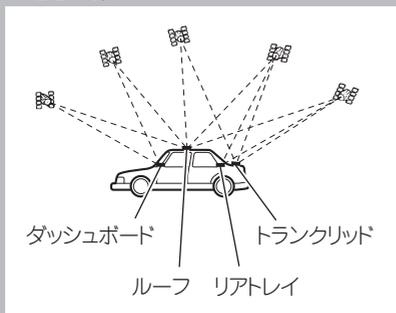
\* 作業の際には安全に十分ご注意ください。

**注：付属のネジ以外は使用しないでください。  
付属のネジよりも長いネジを使用すると、  
本機内部の部品をいためることがあります。**

# GPS アンテナの取り付け

## 取り付け上のご注意

- GPS アンテナは、GPS 衛星の電波が車のボディなどで遮られない場所に水平に取り付けてください。（どの方向からも電波が受信できるように、できるだけ車外のルーフやトランクリッドに取り付けてください。）



- GPS アンテナを塗装しないでください。アンテナの性能が落ちる場合があります。
- GPS アンテナを車内に取り付ける場合は、必ず付属の金属シートを使用してください。使用しないと、十分な受信感度を得られなくなります。

- 付属の金属シートは、切って小さくしないでください。十分な受信感度を得られなくなります。
- GPS アンテナは、ナビゲーション本体から 30cm 以上離して設置してください。また、あまった GPS アンテナコードをまとめて置くと、ナビゲーション本体から 30cm 以上離して置いてください。近くに設置すると、受信感度が低下してしまいます。
- GPS アンテナを取り外すときは、アンテナコードを引っ張らないでください。アンテナに付いている磁石が強力なため、コードが抜けてしまうことがあります。
- GPS アンテナは磁石で取り付けます。アンテナを車のボディに取り付ける場合は、ボディを傷つけないように慎重に取り付けてください。
- GPS アンテナを車外に取り付けた場合、自動洗車機で洗車するときは、アンテナを取り外して車内にしまってください。アンテナが外れて車のボディを傷つけることがあります。

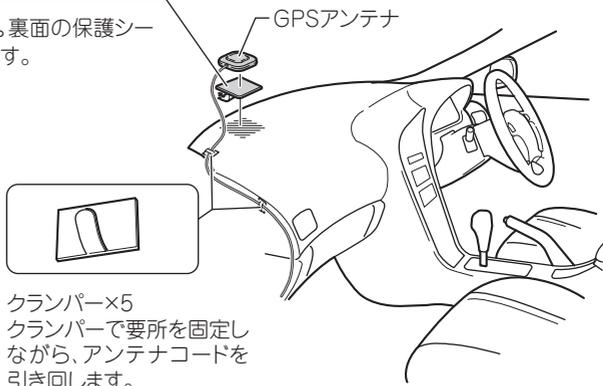
## 車内（ダッシュボードやリアトレイの上）に取り付ける場合

なるべく水平な場所、またはアンテナがウィンドウの外に向く場所に金属シートを貼り付け、GPS アンテナを金属シートの上に置きます。（GPS アンテナの磁石で固定されます。）

金属シート  
必ず使用してください。裏面の保護シートをはがして貼り付けます。

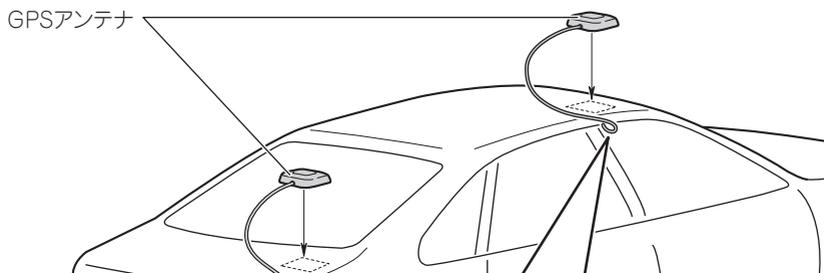
### メモ

- 車のウィンドウガラスの一部に、GPS 衛星の電波を通さないものがあります。GPS アンテナを車内に取り付けたときに、GPS 衛星からの電波を受信しにくい場合は、一度アンテナを車外に取り付けてみてください。

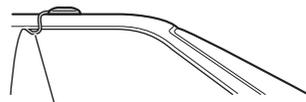


## 車外（車のボディ）に取り付ける場合

車のルーフやトランクリッドの、なるべく水平な場所で、さらにコード長が本体に届く場所に GPS アンテナを置きます。（GPS アンテナの磁石で固定されます。）



### アンテナコードをドアの上側から車内に引き込む場合

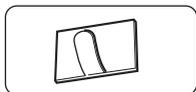


雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードを外側でU字形に曲げます。



クランパー×5  
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

### アンテナコードをトランク内に引き込む場合



クランパー×5  
クランパーで要所を固定しながら、アンテナコードを引き回します。

ゴムパッキング



防水パッド  
トランクを開めたとき、ゴムパッキングの上に防水パッドが水平に当たるようにします。

雨水がコードを伝わって車内へ入らないように、コードをゴムパッキングの外側でU字形に曲げます。

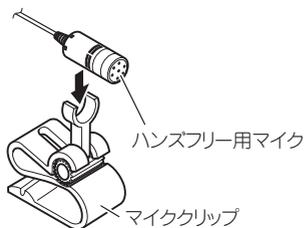
# ハンズフリー用マイクの取り付け

## 取り付け上のご注意

ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

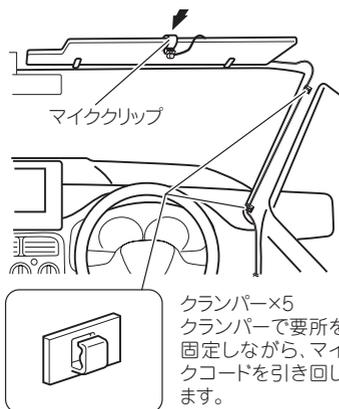
### サンバイザーにはさんで取り付ける場合

#### 1 マイククリップにマイクを取り付ける



#### 2 サンバイザーにマイククリップを取り付ける

サンバイザーを上げた状態で取り付けます。サンバイザーを下げると、通話相手側へ音声が届きにくくなります。



### ステアリングポストに取り付ける場合

#### 1 マイククリップにマイクを取り付ける

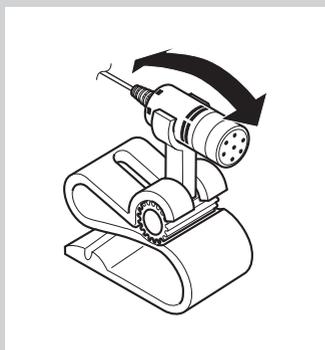


#### 2 ステアリングポストにマイククリップを取り付ける



## マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、マイククリップの可動部を前後に動かして調節します。



# フィルムアンテナの取り付け

## 取り付け上のご注意

- 保安基準\*に適合させるため、本書をよくお読みになり正しく貼り付けてください。
- \* 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、国土交通省令第95号をいいます。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、貼り付けしないでください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- フロントガラスに縦50mm × 横100mm (アンテナを縦向きに貼る場合は、縦100mm × 横50mm) のスペースが無い車には、取り付けできません。
- 必ず車内の貼り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとケーブルを仮止めして、エレメントとアンプが貼り付けられることを確認してください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートをはがしたあとは、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- プラシーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けできません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めておいてください。
- フロントガラスに他のアンテナが取り付けられている場合は、各アンテナから6cm以上離して取り付けます。このため、指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

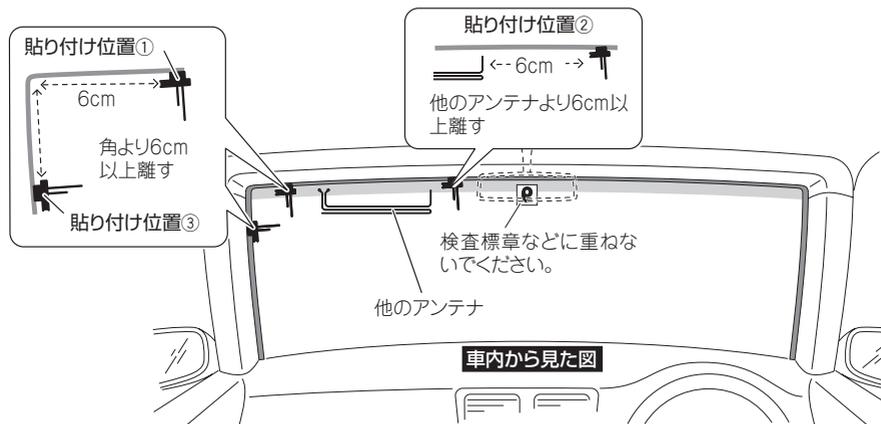
一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。

必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

## 貼り付け位置について

### ⚠️ 必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「ブースターアンブおよび金属部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



貼り付け位置①：フロントガラスの角より6cm以上および、他のアンテナより6cm以上離す。

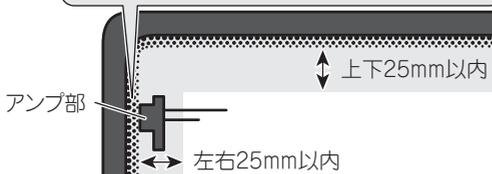
貼り付け位置②：他のアンテナより6cm以上離す。

貼り付け位置③：フロントガラスの角より6cm以上離す。

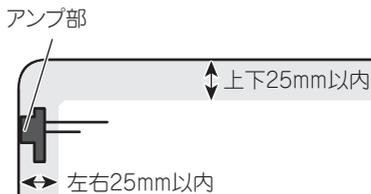
## ブースターアンブおよび金属部の貼付許容範囲

### ■ セラミックライン有り

ウィンドウの黒い縁（セラミックライン）の上には貼り付けないでください。



### ■ セラミックライン無し



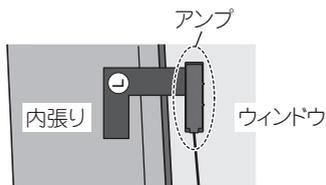
# フィルムアンテナの取り付け

つづき

## フィルムアンテナを貼り付ける

### 1 アンプの仮位置を決める

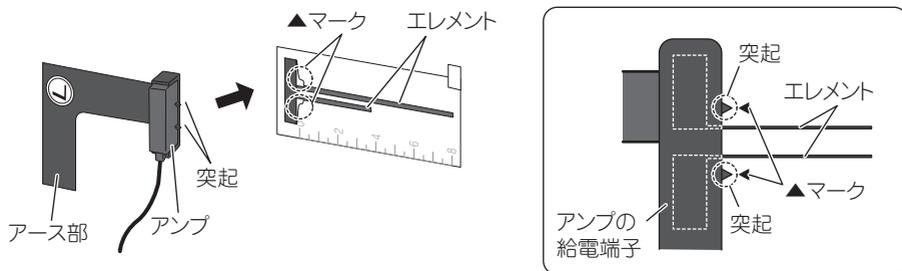
フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）にアンプが当たらないように仮位置を決めます。



※「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

### 2 フィルムの仮位置を決める

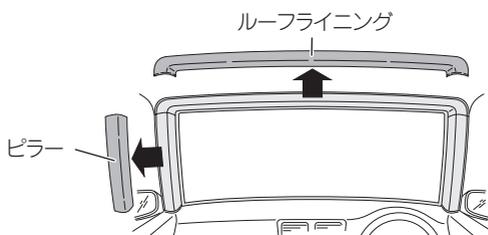
フィルムアンテナの貼り付けの際、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起が合うように仮位置を決めます。



※「貼り付け位置について」を参照して仮位置を決めてください。

※ フィルムのものさし印刷部は、貼り付け位置を決めるときに補助としてお使いください。

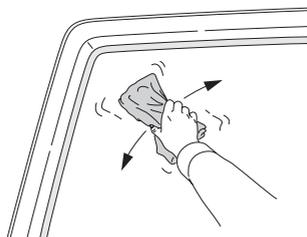
### 3 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



### 4 ケーブルを引き回す仮位置を決める

### 5 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。



注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

※ アース部を貼り付ける金属部の湿気、ホコリ、汚れ、油なども、取り除いてください。

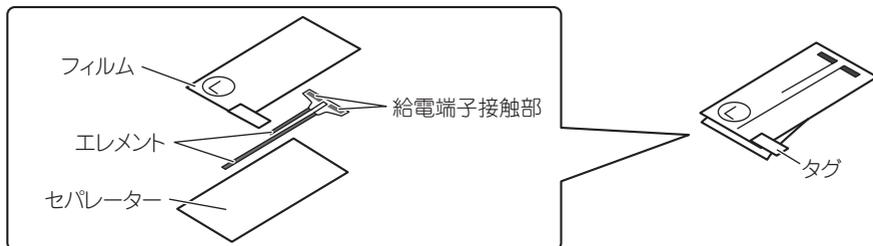
### 6 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

# フィルムアンテナの取り付け

つづき

## 7 セパレーターをはがす

エレメントがフィルム側に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってセパレーターをゆっくりはがします。



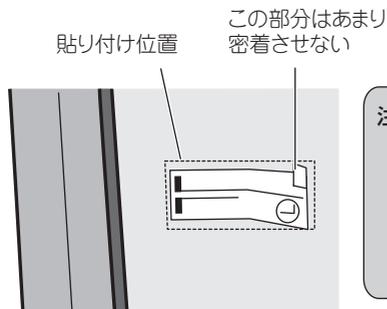
- ※ セパレーターを急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。
- ※ セパレーターをはがしたあとは、エレメントに触れたりものを当てたりしないでください。
- ※ エレメントがセパレーター側に貼り付く場合は、セパレーターを元に戻してフィルム側に貼り付くように強くこすり、もう一度はがしてください。

### メモ

- 取り付け例としてセラミックライン有りの車で説明しています。詳しくは「アンブ部の貼付許容範囲」を参照してください。

## 8 フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

ガラス面の貼り付け位置にフィルムを合わせ、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたアンテナをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

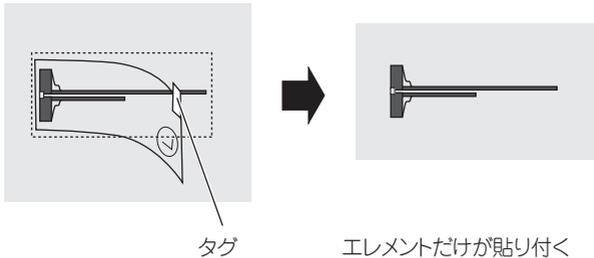


**注：** 汚れ、油膜、水分がガラス面に残っている場合、エレメントがガラス面にうまく貼り付かず、フィルムをはがす際に、エレメントが断線することがあります。十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

- ※ 貼り付け後は、フィルムの上からエレメントを強く押さえてガラス面に密着させてください。

## 9 フィルムをはがす

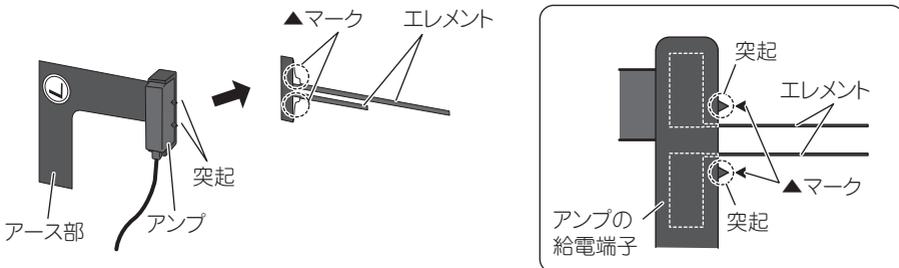
エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持ってフィルムをゆっくりはがします。



※ エレメントがフィルムと一緒にはがれる場合は、フィルムを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

## 10 アンプをエレメントに貼り付ける

アンプの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。



注：コードを引っ張った状態で貼り付けしないでください。

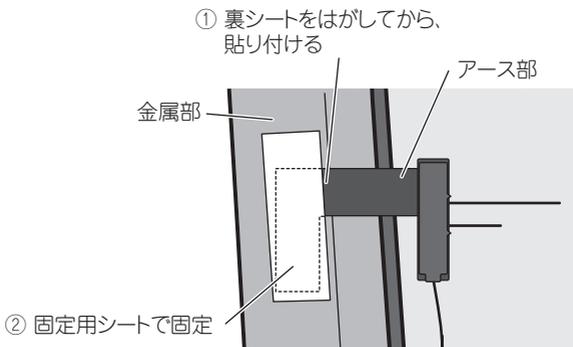


# フィルムアンテナの取り付け

つづき

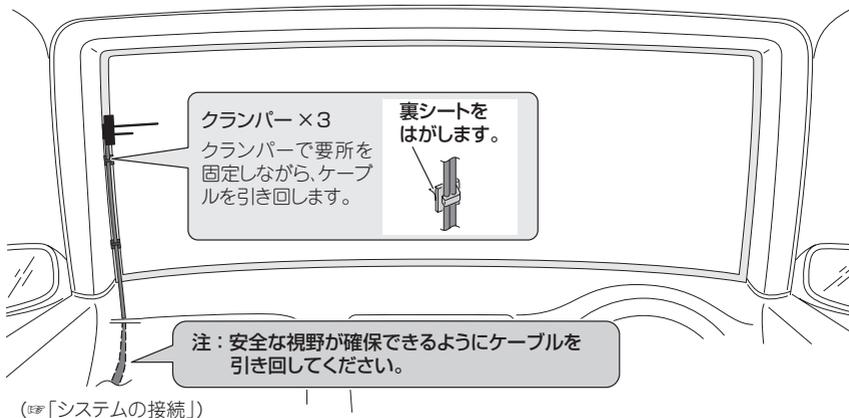
## 11 アース部を車の金属部に貼り付ける

アース部の裏シートをはがして、ピラーの金属部へ貼り付けます。貼り付けたアース部を付属の固定用シートで固定します。



※ 裏シートが無い部分が浮き上がらないように、貼り付けてください。

## 12 ケーブルを引き回す



注：運転に支障がないようにケーブルを引き回してください。

---

## 13 内張りを元に戻す

# 接続・取り付けの確認を行う

接続・取り付けが終わったら、本機を動作させ、接続・取り付けの確認を行ってください。

## 1 車のエンジンをかける



## 2 地図画面が表示されたら「メニュー」ボタンを押す

## 3 設定・編集にタッチする



## 4 各種情報にタッチする



## 5 接続状態表示にタッチする



## 6 接続状態を確認する (次ページ)



## 7 接続状態を確認したら、「現在地」ボタンを押す

## 接続状態画面の見かた

### 車速パルス

車速信号入力（ピンクリード線）の接続状態を確認できます。正しく接続されていれば、車を走行させると“ピッ”と発音音がして、数字とバーが表示されます。数字とバーは本機が測定したパルス数をあらわしています。“ピッ”音とパルス数は速度によって変化します。車速パルスの確認は、低速（時速 5km 程度）で行ってください。

### パーキングブレーキ：

パーキングブレーキスイッチ（若草色リード線）の接続状態を確認できます。ブレーキペダルを踏んで、パーキングブレーキをかけ直してください。パーキングブレーキを解除すると [OFF]、かけ直すと [ON] が表示されます。

### バック信号：

バック信号入力（紫 / 白リード線）の接続状態を確認できます。パーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでから、シフトレバーを R（リバース）の位置から R（リバース）以外の位置にすると LOW から HIGH または HIGH から LOW に切り換わります。

### Bluetooth リンク：

Bluetooth での接続状態が表示されます。正しく接続されていれば「接続」、接続されていない場合は「未接続」と表示されます。

# サブウーファーの設定を行う

本機にサブウーファーを接続したときは、サブウーファーを固定したあと、車の窓やドアを閉めた状態でサブウーファーの設定を行ってください。  
工場出荷時は、「サブウーファー設定：ON」・「位相：ノーマル」・「レベル：±0」・「周波数：80Hz」です。

## 1 低音を含む音楽を再生する

## 2 「メニュー」ボタンを押す

## 3 設定・編集にタッチする



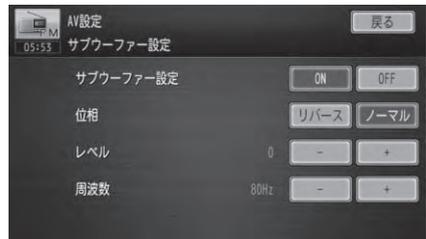
## 4 AV設定にタッチする



## 5 サブウーファー設定にタッチする



## 6 各項目を選び、設定を行う



サブウーファー設定	ON に設定します。
位相	違和感が無く、低音の音量が大きく聞こえる方を選びます。
レベル/周波数	適切な音質に調整します。

## 7 各項目を設定したら、「現在地」ボタンを押す

# バックカメラの設定を行う

本機にバックカメラを接続したときは、バックカメラの設定を行ってください。  
工場出荷時は、「バックカメラ：OFF」・「バックカメラ極性：HIGH」です。

## 1 「メニュー」ボタンを押す

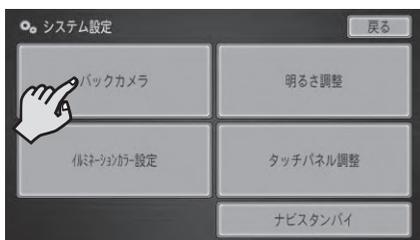
## 2 設定・編集にタッチする



## 3 システム設定にタッチする



## 4 バックカメラにタッチする



## 5 各項目を選び、設定を行う



### バックカメラ

本機にバックカメラを接続したときに設定します。

**ON** 接続したとき。

**OFF** 接続していないとき。

### バックカメラ極性

本機にバックカメラを接続したときに車のバック信号の極性に合わせて設定します。

**HIGH** 接続状態画面 ( 31 ページ ) で、シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が [HIGH] になる車両の場合はこちらを選びます。

**LOW** 接続状態画面 ( 31 ページ ) で、シフトレバーをバックに切り換えたときに「バック信号」の表示が [LOW] になる車両の場合はこちらを選びます。

## 6 各項目を設定したら、「現在地」ボタンを押す

接続・取り付けが終わったら

# 外部機器の入力設定を行う

本機に外部機器を接続したときは、AV1/AV2の入力設定を行ってください。  
工場出荷時は、「AV1入力：OFF」・「AV2入力：OFF」です。

## 1 「メニュー」ボタンを押す

## 2 設定・編集にタッチする



## 3 AV設定にタッチする



## 4 その他設定にタッチする



## 5 AV1入力またはAV2入りにタッチする



### AV1入力

本機背面のRCA入出力ケーブルに外部機器を接続したときに設定します。タッチすることにより、以下のように切り換わります。

OFF	何も接続していないときに設定します。
iPod	iPodを接続したときに設定します。(13ページ)
VTR	ポータブルビデオなどの映像機器を接続したときに設定します。(13ページ)
EXT	地上デジタルTVチューナー以外の映像ソースのエクスターナルユニットを接続したときに設定します。(13ページ)

### AV2入力

本機前面のAV入力端子(6ページ)に外部機器を接続したときに設定します。タッチすることにより、以下のように切り換わります。

OFF	何も接続していないときに選びます。
VTR	ポータブルビデオなどの外部機器を接続したときに設定します。

## メモ

- 【AV1 入力】 / 【AV2 入力】 以外の設定項目については、『ナビゲーション & オーディオブック』の「AV 設定」 - 「その他設定」をご覧ください。

## 6 各項目を設定したら、「現在地」ボタンを押す